

平成30年度 行政評価表:消防調整課

【Plan】計画 / 【Do】実施																		【Check】評価 / 【Action】改善																
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)									H29年度			H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			指標名等		H29年度			H30年度			指標名等		H29年度			H30年度			決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)	成果向上 余地はあるか	評価の理由	コスト削減 余地はあるか	事業 評価	1次評価(担当者評価)		2次評価						
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率								事業評価	評価の理由	R2年度予算要求の方向性	所屬長評価					
消防・救急体制の充実	伊万里・有田消防組合運営負担金	災害のない、また、災害によって受ける被害の軽減による、安全・安心のまちづくりのための消防力の充実強化を図る。 ・消防施設の充実強化 ・消防行政の総合的な企画及び調整に関する業務 ・消防職員の任命、設備の維持管理に関する業務 伊万里市・有田町で共同運営する伊万里・有田消防組合を支援する。	人件費負担金	千円	703,433	703,433	100%	781,117	781,117	100%	人件費負担金	千円	703,433	703,433	100%	781,117	781,117	100%	785,099	870,628	870,628	なし	消防組合が実施する事業に対する支援のため、成果向上の余地はない。	なし	義務的経費であり、コスト削減の余地はない。	維持	適正に行われており見直す余地はない。	大規模複雑多様化している災害に対応するため、必要不可欠な資機材等について適切な予算要求を行う。	維持	適切に事業が行われており、市民の安全・安心に寄与できるよう、今後も引き続き支援を行う。				
消防・救急体制の充実	消防団車両管理事業	小型動力ポンプ付積載車、積載車及び小型動力ポンプの更新に係る事業であり、経過年数に基づき普通自動車35年、軽自動車25年、小型動力ポンプ30年を基準に年次の更新を図っている。 ・小型動力ポンプ付積載車 66台 ・消防台車付小型動力ポンプ 3台	小型動力ポンプ付積載車、積載車及び小型動力ポンプ	台	2	2	100%	2	2	100%	更新した台数	台	2	2	100%	2	2	100%	8,910	9,178	9,055	中	装備が更新されたことで消防力の維持と向上が図られた。	なし	災害活動には、一定の装備が必要不可欠であり、コスト削減の余地はない。	維持	県内他市町の消防団積載車の更新基準等と比較すると、更新までの期間が著しく長い。しかしながら、今年度も積載車及び小型動力ポンプについては突発的な故障等もなく、年次計画どおり更新ができた。	年次計画に沿った予算要求を行っていく。最低でも現在の年次計画に沿った更新を行っていきたい。	維持	計画どおりの更新ができています。ただし更新期間が長く、維持管理におけるコスト増に注意を要す。				
消防・救急体制の充実	消防団施設整備支援事業	伊万里市消防施設整備事業、補助の対象施設新設及び補修 1. 小型動力ポンプ付積載車格納庫 2. 小型動力ポンプ格納庫 3. ホース乾燥塔	各種新設・補修件数	件	2	2	100%	1	1	100%	不具合・トラブル件数	件	0	0	0%	0	1	未達成	902	384	384	中	予算が措置されれば、施設が整備され消防団員の福利厚生面が充実される。	なし	本事業は、補助事業であることから、要望に対して補助金要綱に基づいた補助金を交付しており、削減する余地はない。	維持	各区所有の消防施設に対する支援を行うことで、消防力の維持と向上を図ることができた。同時に消防団員の福利厚生面の向上が図られた。	随時、関係機関からの要望に対応していく。	維持	各行政区からの要望により施設の新設、補修等に補助金を交付していることから年度ごとの増減あり。今後も、防災の基盤である消防団格納庫、防火水槽等の維持に不可欠である。				